

# 令和五年度 中学生の「税についての作文」

千葉県税理士会柏支部 支部長賞

## 共存 く明るい未来へく

野田市立木間ヶ瀬中学校 第三学年 新井 美也

突然、弟の手の甲がパンパンに腫れた。夜遅い時間だったのと、痛みが無いようだったので、家で様子を見ていた。次第に腹痛に襲われて、血便が止まらなくなり、トイレから出てこれなくなった。急いで病院へ行き、診察してもらうと、すぐ入院することになった。この日は大晦日だった。お正月を、病院で過ごすことになり、とても可哀想だと思った。入院中の検査の結果がよくなって、専門の先生がいる病院の紹介状を出してもらい、移ることになり、ここから長い入院生活が始まった。

弟は当時小学一年生で、とてもやんちゃで、サッカーが大好きで、スクールにも通っていた。しかし、病気になる、ドクターストップがかかり、一年程運動に制限が出てしまった。退院後も大量の薬と定期的な通院を重ねながら過ごしていた。そんな弟も来年から中学生になる。今は薬は飲まずに生活していて検査結果も良く、小学生いっぱいまで通院も終わると主治医と話している。

私は、授業で、「社会保障制度」を学びました。このときの入院費や治療費が全くかからなかったことを母から聞きました。本当なら多額のお金がかかっているところを、「子ども医療費助成制度」という国の医療費の助成のおかげで助けられたことを感謝していました。そこで私は、国の歳出トップにある、「社会保障制度」と「税」について興味を持ち、調べ直してみました。

社会保障とは、私たちが安心して生活していくために、必要な公的サービスのことで、医療、年金、介護、福祉などのしくみのことです。国民が払った税金や大人になったら払う保険料から、このようなサービスが受けられています。

現在、社会保障制度には問題があります。それは、少子高齢化の影響で、高齢者の医療費が増え続けていることです。それに対して、年々、出生率が激減し、働ける人が減っているため、納める税金が少なく国の収入が、減っています。少子化を防ぐには、結婚支援や児童手当などの経済的支援を強化していくべきだと思います。また、若者は選挙に行き、日本の将来を預けられる人を、投票して、自分たちで選ぶことが大切だと思います。

社会や税金のあり方は、時代とともに変化していくでしょう。これからも、税金は私たちの生活を支え、困っている人に寄り添い、住みやすい社会のために使われてほしいです。

私は将来、納税をしつかりとし、社会に貢献したいです。